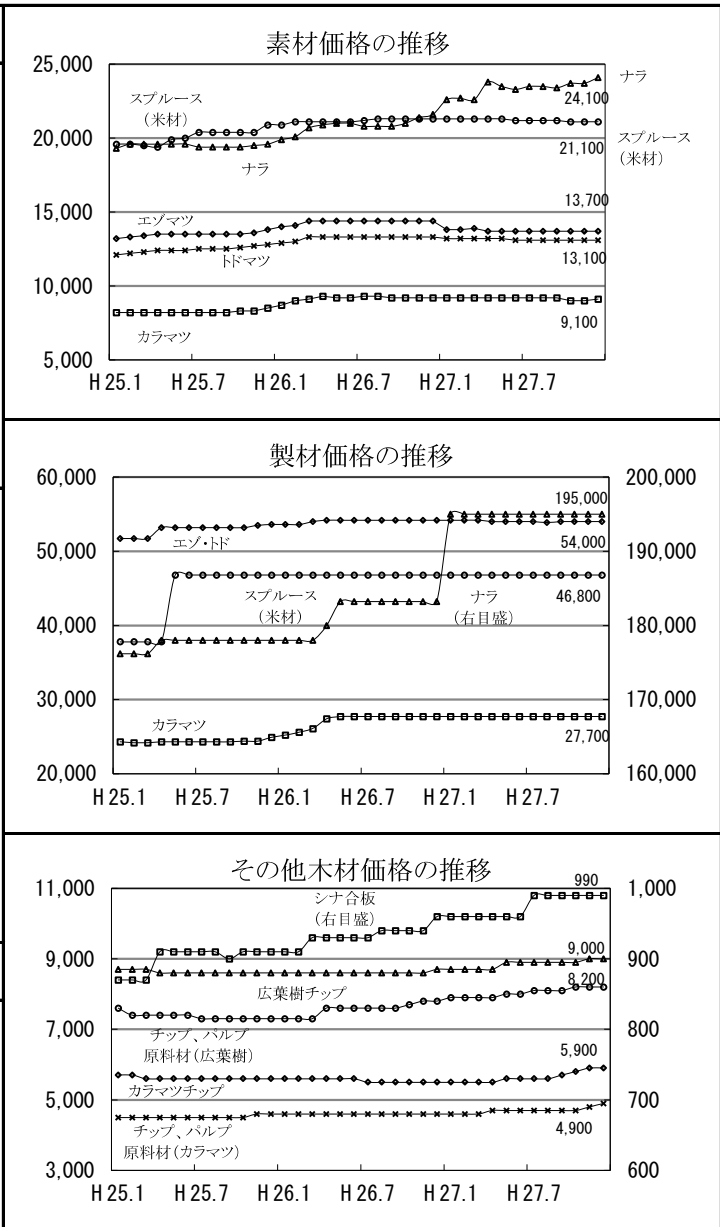


# 道内の木材市況概況(平成27年12月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差	市況の動向
素材	エゾマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,700	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、全道的に在庫に不足感はないが、一部工場でトド小径木が不足している。市況は保合。 ・カラマツ原木は、製材の荷動きが回復してきたことに加え、天候不順の影響により出材が低調で、一部地域を除き、在庫に不足感あり。市況は保合。 ・広葉樹原木は、流通材が少なく、市況は強保合。 (外国産材) ・米材丸太の11月の輸入量は6千m <sup>3</sup> (前月0千m <sup>3</sup> ・前年同月7千m <sup>3</sup> )。11月末港頭在荷量は26千m <sup>3</sup> (前月比117%・前年同月比134%)。
	トドマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,100	0	
	カラマツ	径14~18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,100	100	
	ナラ	径30~38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	24,100	400	
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	21,100	0	
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲II-2級	工場渡	54,000	0	(道産材) ・エゾ・トド製材は、建築材が順調な荷動きを続けている地域が多く見られる。市況は保合。 ・カラマツ製材は、梱包材・パレット材の荷動きが回復してきたため、受注残は約3週間~1カ月と増加。市況は保合。 (住宅着工戸数) ・11月の新設住宅着工戸数は前年同月比91%。 (外国産材) ・米材製材の11月の輸入量は2千m <sup>3</sup> で前月比126%、前年同月比115%。11月末港頭在荷量9千m <sup>3</sup> で前月比94%・前年同月比120%。
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	27,700	0	
	ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	195,000	0	
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込	港頭オントラ	46,800	0	
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	990	0	・市況は保合
チップ、パルプ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	4,900	100	・チップ・パルプ原料材は、カラマツが強保合、広葉樹は保合。 ・チップは保合。
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,200	0	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	5,900	0	
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,000	0	



注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。  
 注2 価格欄の「-」は、当該調査月に当該調査品目の取引がなかったことを示す。  
 注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。